

「認知行動療法を実施する看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキル」 研究参加のお願い

現在、国内の看護師による認知行動療法(以下、CBT)が十分に実施されていないなか、看護師の CBT 実践に対する看護師のスーパーバイザーの養成は急務と言えますが、国内にはスーパーバイザーの養成プログラムは存在せず、看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキルも明らかにされていません。

本研究では、CBT を実施する看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキルを明らかにすることを目的とします。今回得られる成果は、今後、看護師のスーパーバイザー養成プログラムの作成の際の一資料として活用させていただきます。

以下の①～⑤に、ご理解、ご賛同いただける場合、研究対象者として是非とも研究にご参加くださいますようよろしくお願い申し上げます。

① 研究の名称及び当該研究の実施について研究機関の長の許可を受けている旨

本研究「認知行動療法を実施する看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキル」は、国際医療福祉大学倫理審査委員会の承認を受けて、実施します。

② 研究機関の名称及び研究責任者の氏名

研究機関:国際医療福祉大学 研究責任者:国際医療福祉大学成田看護学部 教授 岡田佳詠

③ 研究の目的及び意義

現在、国内の看護師による CBT が十分に実施されていないなか、看護師の CBT 実践に対する看護師のスーパーバイザーの養成は急務と言えますが、国内ではスーパーバイザーの養成プログラムは存在せず、看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキルも明らかにされていません。そこで、本研究では、CBT を実施する看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキルを明らかにすることを目的とします。

今回得られる成果は、今後、看護師のスーパーバイザー養成プログラムの作成の際の一資料として活用させていただきます。

④ 研究の方法及び期間

研究参加希望の方から、下記連絡先のメールにご連絡がありましたら、研究責任者からメールで連絡をし、研究の趣旨・倫理的配慮等の説明・同意の手続き、インタビューを行う日時・場所等についてご相談をし、設定します。設定した日時・場所にて、研究責任者が研究の趣旨・倫理的配慮等について説明し、研究協力への同意を文書にて得たのち、インタビューを行います。インタビューでは、CBTを実施する看護師へのスーパービジョンの経験、あるいは個別のスーパービジョンを受けた経験をもとに、スーパービジョンに必要な態度やコミュニケーションなどのスキルについて、40分程度のインタビューを1回お受けいただきます。

インタビュー内容は同意を得たうえで、ICレコーダーに録音させていただきます。その後、逐語録を作成し、データを質的に分析して、スーパービジョンに必要な態度・スキルを明らかにします。

⑤ 研究対象者として選定された理由

研究への参加は、看護師の CBT 実践に対するスーパービジョンの実施経験のある、あるいは CBT の個別スーパー

ビジョンを受けた経験のある看護師で、看護師としての精神科臨床経験が3年以上あり、自由意思による研究参加の同意を文書で得られる方とします。

一方、スーパービジョンの実施経験、あるいはCBTの個別スーパービジョンを受けた経験を話すことで精神的動揺を生じる方は参加できませんのでご了承ください。

⑥ 研究対象者に生じる負担並びに予測されるリスク及び利益

インタビューで尋ねる、看護師のCBT実践に対するスーパービジョンの経験、あるいは個別のCBTのスーパービジョンを受けた経験については、通常、身体的・精神的・社会的に苦痛や危害を与えるものではありません。しかし、インタビュー時間の捻出、インタビューの場所までの交通費等の負担が生じる可能性があります。そこで、インタビューの日時や場所の設定では、研究参加者の都合を最優先し、負担を最小限にいたします。例えば、個人情報を守られる場所であれば、研究参加者の職場など、希望する場所に研究責任者が出向く、あるいは研究参加者に交通費を実費支給します。また、謝礼をお渡しします。

研究参加者が、本研究のインタビューにより直接的な利益を受けることはありません。しかし、今回の結果をもとに、ご自身のスーパービジョンに関する態度・スキルの向上に役立てることができ、また今後、本研究結果を盛り込む予定の看護師へのスーパービジョン養成プログラムへの参加も可能で、その際に間接的な利益を受けることができます。

⑦ 研究が実施又は継続されることに同意した場合であっても随時これを撤回できる旨

研究の実施や継続について同意した場合であっても、いつでも撤回することができます。

⑧ 研究が実施又は継続されることに同意しないこと又は同意を撤回することによって研究対象者等が不利益な取扱いを受けない旨

研究の実施や継続に同意しない、または同意を撤回することによって、研究参加者に不利益は一切生じません。

⑨ 研究に関する情報公開の方法

本研究の成果は、個人が特定されない配慮を行った上で、専門学会での発表、学会誌での発表を行う予定です。

⑩ 研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を入手又は閲覧できる旨並びにその入手又は閲覧の方法

研究対象者等の求めに応じて、他の研究対象者等の個人情報等の保護及び当該研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。その際は、研究責任者の連絡先にいつでもお問い合わせください。

⑪ 個人情報等の取扱い

本研究に係わるすべての研究者は、「ヘルシンキ宣言」および「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を遵守して実施します。

研究実施に係る情報を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは無関係の番号を付して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。研究の結果を公表する際は、研究対象者を特定できる情報を含まないようにします。また、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用しません。

インタビュー時のフェイスシートの記載は個人が特定できないように無記名でお願いします。またインタビュー内容はICレコーダーへの録音の許可をいただきます。個人情報保護のため、インタビューのなかでは、ご自身のみならず

他者の個人情報の特定につながる発言は避けていただきますようお願いいたします。

⑫ 試料・情報の保管及び廃棄の方法

フェイスシート、録音データは、国際医療福祉大学成田看護学部内の岡田佳詠研究室内の鍵のかかるロッカー内で平成42年3月末まで厳重に保管し、その後は、シュレッターにかける、あるいは溶解処分します。

⑬ 研究の資金源等、研究機関の研究に係る利益相反及び個人の収益等、研究者等の研究に係る利益相反に関する状況

本研究は、研究責任者が採択を受けた文部科研費(基盤(C):16K12234)で実施します。また、利益相反はなく、その点を利益相反管理委員会に申告します。

⑭ 研究対象者等及びその関係者からの相談等への対応

研究に関して疑問・質問等があれば、いつでも下記の連絡先にご連絡ください。遅滞なく対応をします。

⑮ 研究対象者等に経済的負担又は謝礼がある場合

⑥でもお示した通り、研究対象者に交通費が発生した場合は実費で支給し、謝礼をお渡しいたします。

このような趣旨をご理解いただき、本研究にご協力いただけることを心よりお願い申し上げます。

<応募期間・方法>

平成30年5月25日(金曜日)～7月31日(火曜日)の期間内に、「認知行動療法を実施する看護師へのスーパービジョンに必要な態度・スキル」事務局 e-mail アドレス cbtsvinterview@gmail.com 宛に、ご連絡をください。「インタビュー協力」とタイトルに明記し、①氏名、②連絡先となる e-mail アドレス、をお知らせください。後日、研究の説明と同意の手続きやインタビューの実施の場所・日時等について、研究責任者から連絡をし、調整を致します。研究への正式な参加は、インタビュー前の研究の説明と文書による同意を得た後から、となりますので、その旨、ご承知おきください。

* 本研究は、平成29年度科学研究費助成事業(基盤研究(C):16K12234)の助成を受けて実施されるものです。

* 「看護のための認知行動療法研究会」の活動とは、一切関係ありません。

* 研究協力の際には、インタビュー実施場所までの交通費(実費)を支給し、謝礼をお渡しいたします。

* 本研究についての不明点・疑問点などは、下記までご連絡ください。

<連絡先>

研究責任者 国際医療福祉大学 成田看護学部 看護学科
教授 岡田佳詠

電話:0476-20-7739

E-mail:yoshiok@iuhw.ac.jp

住所:千葉県成田市公津の杜4-3